

妙法蓮華經

如來壽量品

第十六

じーがーとくぶつらい 自我得仏来	しよーきょうしよーこっしゅー 所經諸劫数	むーりょうひやくせんまん 無量百千万	おくさいあーそうぎー 億載阿僧祇	じょうせつぼうきょうけー 常說法教化
むーしゅーおくしゅーじょう 無數億衆生	りょうにゅうおーぶつどう 令入於仏道	にーらいむーりょうこう 爾來無量劫	いーどーしゅーじょうこー 為度衆生故	ほうべんげんねーはん 方便現涅槃
にーじつふーめつどー 而実不滅度	じょうじゅうしーせつぼう 常住此說法	がーじょうじゅうおーしー 我常住於此	いーしよーじんずうりき 以諸神通力	りょうてんどうしゅーじょう 令顛倒衆生
すいごんにーふーけん 雖近而不見	しゅーけんがーめつどー 衆見我滅度	こうくーようしゃーりー 廣供養舍利	げんかいてーれんぼー 咸皆懷恋慕	にーしょうかつごうしん 而生渴仰心
しゅーじょうきーしんぶく 衆生既信伏	しちじきーにゅうなん 質直意柔軟	いっしんよくけんぶつ 一心欲見仏	ふーじーしゃくしんみょう 不自惜身命	じーがーぎゅうしゅーそう 時我及衆僧
くーしゅつりょうじゅーせん 俱出靈鷲山	がーじーごーしゅーじょう 我時語衆生	じょうざいしーふーめつ 常在此不滅	いーほうべんりきこー 以方便力故	げんうーめつふーめつ 現有滅不滅
よーこくうーしゅーじょう 余国有衆生	くーぎょうしんぎょうしゃー 恭敬信樂者	がーぶーおーひーちゅう 我復於彼中	いーせつむーじょうほう 為說無上法	にょーとうふーもんしー 汝等不聞此
たんにーがーめつどー 但謂我滅度	がーけんしよーしゅーじょう 我見諸衆生	もつざいおーくーかい 没在於苦海	こーふーいーげんしん 故不為現身	りょうごーしょうかつごう 令其生渴仰
いんごーしんれんぼー 因其心恋慕	ないしゅついーせつぼう 乃出為說法	じんずうりきにょーぜー 神通力如是	おーあーそうぎーこう 於阿僧祇劫	じょうざいりょうじゅーせん 常在靈鷲山
ぎゅうよーしよーじゅうしよー 及余諸住処	しゅーじょうけんこうじん 衆生見劫尽	だいかーしよーしょうじー 大火所燒時	がーしーどーあんのん 我此土安穩	てんにんじょうじゅうまん 天人常充滿
おんりんしよーどうかく 園林諸堂閣	しゅーじゅーほうしょうごん 種種宝莊嚴	ほうじゅーたーけーかー 宝樹多花果	しゅーじょうしよーゆうらく 衆生所遊樂	しよーてんきやくてんくー 諸天擊天鼓
じょうさーしゅーぎーがく 常作衆伎樂	うーまんだーらーけー 雨曼陀羅華	さんぶつぎゅうだいしゅー 散仏及大衆	がーじょうどーふーきー 我淨土不毀	にーしゅーけんしょうじん 而衆見燒尽
うーふーしよーくーのう 憂怖諸苦惱	にょーぜーしつじゅうまん 如是悉充滿	ぜーしよーざいしゅーじょう 是諸罪衆生	いーあくごういんねん 以惡業因緣	かーあーそうぎーこう 過阿僧祇劫
ふーもんさんぼうみょう 不聞三宝名	しよーうーしゅーくーどく 諸有修功德	にゅうわーしちじきしゃー 柔和質直者	そっかいけんがーしん 則皆見我身	ざいしーにーせつぼう 在此而說法
わくじーいーしーしゅー 或時為此衆	せつぶつじゅーむーりょう 説仏壽無量	くーないけんぶっしゃー 久乃見仏者	いーせつぶつなんちー 為説仏難值	がーちーりきにょーぜー 我智力如是
えーこうしょうむーりょう 慧光照無量	じゅーみょうむーしゅーこう 壽命無量劫	くーしゅーごうしよーとく 久修業所得	にょーとううーちーしゃー 汝等有智者	もつどーしーしょうぎー 勿於此生疑
とうだんりょうようじん 当断令永尽	ぶつごーじつぷーこー 仏語実不虛	にょーいーぜんほうべん 如医善方便	いーじーおうしーこー 為治狂子故	じつざいにーごんしー 實在而言死

むのうせつこもう
無能説虚妄

がやくいせぶ
我亦為世父

くしよくげんしゃ
救諸苦患者

いぼんぶてんどう
為凡夫顛倒

じつざいにごんめつ
實在而言滅

いじょうけんがこ
以常見我故

にしょうきょうしん
而生憍恣心

ほういつじゃくごよく
放逸著五欲

だおあくどうちゅう
墮於惡道中

がじょうちしゅじょう
我常知衆生

ぎょうどうふぎょうどう
行道不行道

ずいおうしよかど
隨応所可度

いせつしゅじゅほう
為説種種法

まいじさぜねん
每自作是念

いがりょうしゅじょう
以何令衆生

とくにゅうむじょうどう
得入無上道

そくじょうじゅぶっしん
速成就仏身